

短答式問題対策講座

【短答式問題対策 憲法】（後期・木曜日 7 時限）

中野 辰久

講義のねらい

本講座は公務員試験、行政書士、司法書士又は司法試験あるいは法学検定の受験を検討されている受講生を対象として、各種試験での憲法の過去の短答式問題を取り上げ、これらの試験に必要なかつ十分な憲法の基本知識と判例の知識を整理することを目標とします。各試験に応じて難易度の異なる程度の違いは存するものの、短答式試験においては最高裁判所の判例の内容を正確に確認し、おさえておくことが何よりも重要ですので、それを重視したいと思います。

講義の内容・スケジュール

講義の進め方としてはいわゆる受験予備校等が書籍（過去4年間はLEC東京リーガルマインド編著の公務員試験「本気で合格！過去問解きまくり！⑨憲法」を主に利用しました。）として毎年発売している過去問題集、その他各種試験の過去問題集を利用して、それらを講義の中で実際に時間制限の中で解いてもらい、それらの問題の解説をしながら、憲法の基本的知識とそれに関わる判例の整理をしていきたいと思っています。加えて過去の問題にはまだ出題されていない最近の最高裁判所の判例も適宜ご紹介していきたいと考えています。受講生の方々の勉強の進捗を踏まえて、問題を解いてもらうことに重点を置くか、問題をベースにしながら解説の方に比重を置くかを判断していきたいと思っています。

参考にする教科書としては芦部信喜先生の著作で高橋和之先生が補訂されている憲法（第7版）（岩波書店）が読みやすさ、分量、網羅性の点でも適切であろうと個人的には思いますが、各種試験において過去問攻略テキストといった書籍が出版されていますのでそれを利用されることでも差し支えないと思います。また初学者には「はじめての憲法学第4版（三省堂）」が読みやすく、全体を理解しやすいと思います。

前述のとおり短答式試験においては最高裁判所の判例の内容・判旨を知っているかどうかがとても重要ですので、下記の判例百選Ⅰ・Ⅱ（第7版）はあった方が良いでしょうと思います。

教科書等

『憲法（第7版）』（芦部信喜著・高橋和之補訂、岩波書店）

『別冊ジュリスト憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ（第7版）』（有斐閣）